

分類	胆汁酸関連
項目名	T-BIL
日本語名	総ビリルビン
英名	Bilirubin, Total
分析装置名	H-7600
測定方法	バナジン酸酸化法
参考基準値	
臨床的意義	<p>ビリルビンは、赤血球の中のヘム蛋白(主にヘモグロビン)が網内系で処理されて生成する色素のことです。ビリルビンには、間接ビリルビンと直接ビリルビンがあり、それらを合わせて、総ビリルビンといます。間接(非結合)ビリルビンはアルブミンと結合して血中を転送され、肝臓でグルクロン酸抱合され、直接ビリルビンとなって肝臓より胆汁中に排泄されます。ビリルビンの検査では、総ビリルビン値と直接ビリルビン値を測定し、その差から間接ビリルビン値を求めます。黄疸にかかると、体が黄色になるのは、これらのビリルビン色素が血液中に増えるためです。血液中のビリルビンの測定は、各種肝・胆道疾患の診断、経過観察、予後判定や黄疸の鑑別に用いられて、肝機能検査の重要な指標となります。</p>

分類	胆汁酸関連
項目名	D-BIL
日本語名	
英名	Bilirubin, Direct
分析装置名	H-7600
測定方法	バナジン酸酸化法
参考基準値	
臨床的意義	<p>ビリルビンは、赤血球の中のヘム蛋白(主にヘモグロビン)が網内系で処理されて生成する色素のことです。ビリルビンには、間接ビリルビンと直接ビリルビンがあり、それらを合わせて、総ビリルビンといます。間接(非結合)ビリルビンはアルブミンと結合して血中を転送され、肝臓でグルクロン酸抱合され、直接ビリルビンとなって肝臓より胆汁中に排泄されます。ビリルビンの検査では、総ビリルビン値と直接ビリルビン値を測定し、その差から間接ビリルビン値を求めます。黄疸にかかると、体が黄色になるのは、これらのビリルビン色素が血液中に増えるためです。血液中のビリルビンの測定は、各種肝・胆道疾患の診断、経過観察、予後判定や黄疸の鑑別に用いられて、肝機能検査の重要な指標となります。</p>

分類	胆汁酸関連
項目名	胆汁酸
日本語名	総胆汁酸
英名	bile acids, total
分析装置名	H-7170
測定方法	酵素比色法
参考基準値	
臨床的意義	<p>胆汁酸は肝細胞において特異的にコレステロールより生成され、胆汁内に排泄されます。さらに、胆汁酸は閉鎖的腸肝循環(腸-門脈-肝臓-胆汁)を行い、大循環系には微量にしか漏出されないため末梢の血中総胆汁酸濃度はきわめて低いです。したがって末梢血中の血中胆汁酸濃度(TBA)は、腸管からの吸収、肝細胞における摂取、肝内・外シャントなどにより決定され肝機能検査や腸の吸収検査に有用です。</p>